

# 大規模災害時の通信機能強化

【予算額】50,394千円

新規

担当 災害対策課 災害対策担当  
内線 8181

目的

衛星通信機器導入により大規模災害時におけるインターネット環境を確保し、情報共有体制を強化する。

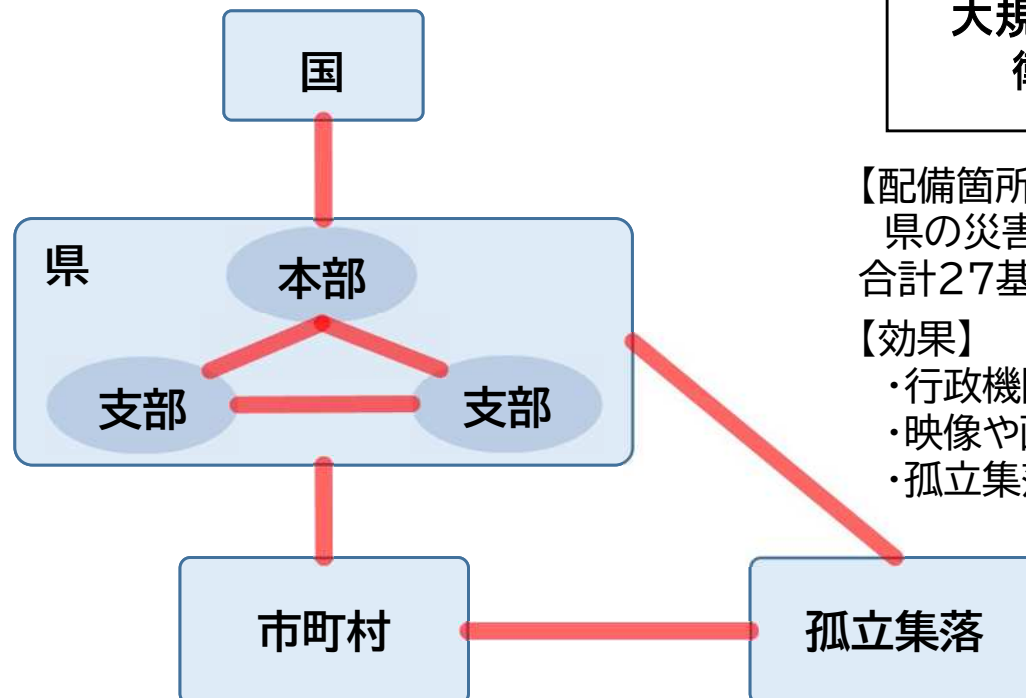
事業概要

1 大規模災害時の通信機能強化事業 50,394千円

(1) 衛星通信機器の導入（新規） 50,394千円

大規模災害時に行政機関相互のインターネット環境確保による情報共有を図るため衛星通信機器を導入する。  
併せて、孤立集落の状況を把握する体制を整備する。

インターネットによる情報共有



大規模災害による通信障害発生時は、  
衛星通信機器を活用し情報共有

【配備箇所】

県の災害対応の拠点となる、災害対策本部・各支部等に  
合計27基配備する。

【効果】

- ・行政機関間における継続した情報共有が可能
- ・映像や画像を活用した被害情報の収集・発信が可能
- ・孤立集落の情報収集・発信が可能

# 国のプッシュ型支援対応の広域物資輸送拠点の訓練実施

【予算額】2,450千円

新規

担当 災害対策課 防災基地・防災訓練担当  
内線 8175

## 目的

災害時における国のプッシュ型支援物資の効率的な受入・供給のため、広域物資輸送拠点（くまがやドーム）における実動訓練を行い、プッシュ型支援に対応した物流オペレーションを確立する。

## 事業概要

### 1 プッシュ型支援対応訓練

2,450千円

#### （1）プッシュ型支援対応訓練（新規） 2,450千円

広域物資輸送拠点の開設から、支援物資を受け入れ、市町村へ供給するまでの一連の要領を確認し、課題抽出や改善を行い、プッシュ型支援対応の物流オペレーションを確立する。



広域物資輸送拠点「くまがやドーム」運営イメージ

#### <訓練参加機関(予定)>

- 埼玉県、市町村
- 災害時応援協定締結事業者  
埼玉県トラック協会、埼玉県倉庫協会 等

#### <訓練項目(予定)>

- 広域物資輸送拠点の開設・運営訓練
- 大型トラック・フォークリフトによる物資搬入・搬出訓練
- 物資調達・輸送調整等支援システムを使用した情報連携訓練